

新除草・調節剤

さし木発根促進用植物成長調節剤

オキシベロン

(取扱メーカー) 塩野義製薬株式会社

対象作物：きく、カーネーション

性状・作用特性：本誌3巻12号を参照

使用方法：次の通りである。

対象作物	適用薬剤	濃 度	処 理 方 法
きく	液剤	500～ 1000 倍	さし穂基部3時間浸漬
		2 倍	さし穂基部10秒浸漬
カーネーション	粉剤	0.5 %	さし穂基部粉衣
	液剤	200～ 400 倍	さし穂基部16～24 時間浸漬
	粉剤	0.5 %	さし穂基部粉衣

使用上の注意：既に本誌3巻12号で記載したが、きく、カーネーションのような軟弱なさし芽に使用する場合には、さし木用土が過湿になるとさし芽の腐敗を招くので特に注意が必要である。また立枯性病害の点を考慮した時、液剤より粉剤の使用が望ましいが、粉衣する場合には過剰に粉衣することを避けねばならない。

古くより「苗半作」との諺があるが、きく、カーネーションのような発根容易な種類についても発根を早め、発根数の多い良苗をうることで、安定した生産を維持する上で必要なことといわねばならない。ポットマムのように初期の生育が花の性質を左右する栽培では、ことに早くよい苗をうることで重要と考えられる。

編 集 後 記

長期天気予報では、今年の梅雨は長いと予報されていたが、どうやらこの予報ははずれたようだ。

6月下旬、北海道を旅したが、公害の波が、北海道の原野にまで押し寄せているのには驚いた。今は無人駅となっている神居古譚駅前を流れている石狩川が、濁流と思われるような茶褐色の流れ、……これは製紙工場の廃液（赤泥）であるという。北海道名産の鮭も、これでは生まれ故郷に戻るにも戻れまい。

昨年問題となった雑草公害… その公害雑草ブタクサ（クワモドキ）が、今年は各地で散見される。地方自治体である市町村では、街並木にそって繁茂するこの雑草に気づかないのであろうか。花粉が飛び、ゼンソクの原因をもたら

すような現象が起こらない限り、行政当局は防除活動に入ってはいけないという規則でもあるのかな？

除草剤に関係している仕事に従事している者には、このような雑草を放置しておく者の心理状態をおそらく理解できないであろう。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都港区芝西久保桜川町26番地
東 話 東京(03)502-4188(代)

昭和46年6月発行

第5巻第3号

¥70(送料35)

編集人 日本植物調節剤研究協会常務理事 吉沢 長 人
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸 七

東京都港区芝愛宕町1-3 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所

電話 東京(03)436-3388番